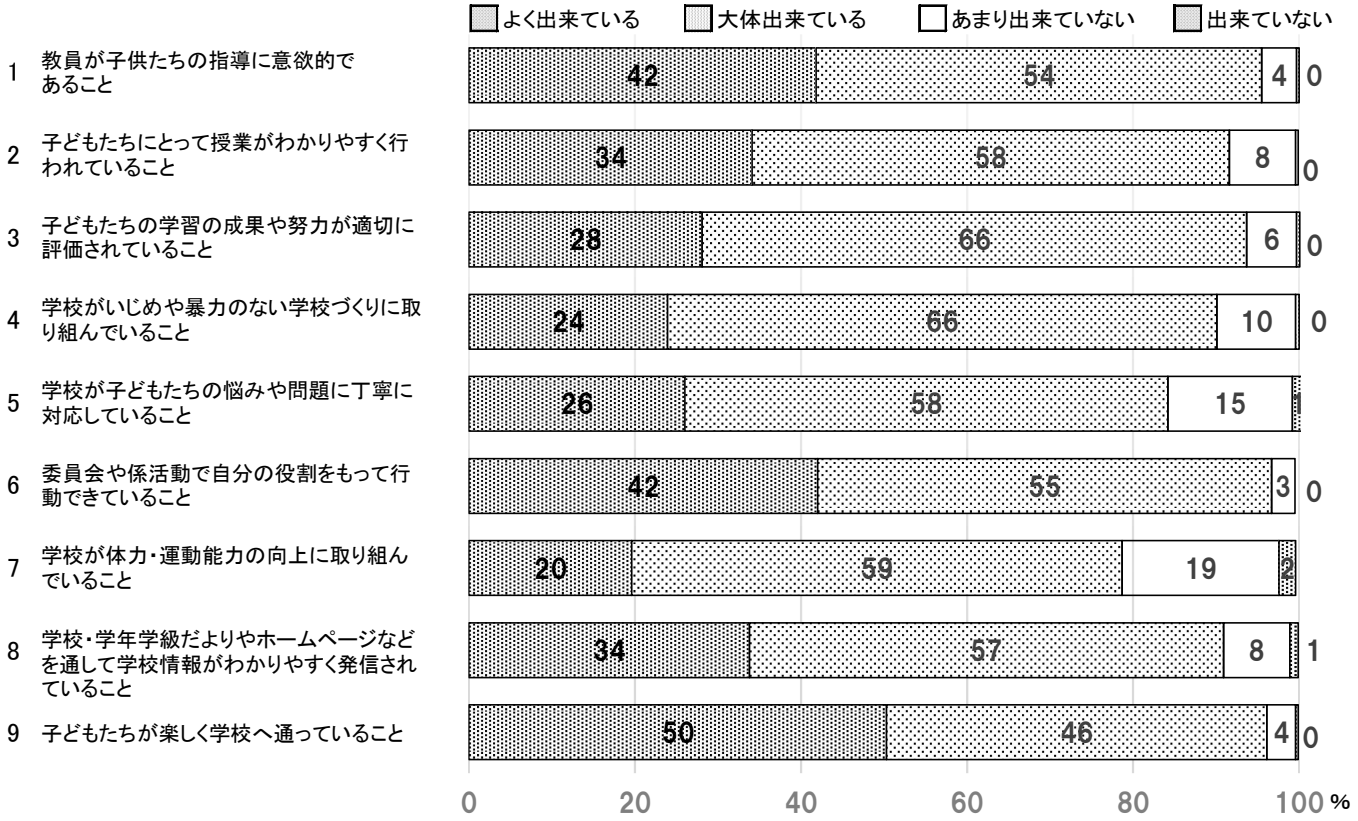
令和元年度　三鷹中央学園　学園・学校評価アンケートまとめ

【第七小学校】

アンケート実施日	：	令和元年10月28日～11月5日
アンケート対象者	：	第七小学校保護者
回　収　率	：	296世帯/306世帯（96．7%）



アンケート結果から得られた成果と課題

※「肯定的回答」…「よく出来ている」「大体出来ている」の合計
※「否定的回答」…「あまり出来ていない」「出来ていない」の合計

成果

今年度は、「わからない」という回答の選択肢をなくしたため、すべての質問項目に対して、肯定的回答の割合が高くなっています。肯定的回答が90%を超える項目は7つでした。また、昨年度から大きく肯定的評価が伸びたものは、いじめの防止、子供たちの悩みや問題への対応、委員会や係活動での役割意識の3つの項目でした。これら3点に共通している背景としては、教員一人一人が児童に寄り添い、一人一人を大切にした指導を行ったことや相互に連携した対応に努めたことが考えられます。具体的には、いじめの防止については、ふれあい月間のアンケートをはじめとした日常的な児童の状況の把握を行ってきたこと、悩みや問題への対応については、担任のみでなく管理職、スクールカウンセラー、養護教諭等が情報を共有して対応に当たったこと、役割意識については、主体的に児童が活動できるような工夫を行ったことが挙げられます。今後も、児童が安心して学校生活を送り、それぞれの力を伸ばすことができるよう学校全体で児童を支え、指導していきます。

課題

ほとんどの項目で肯定的回答が多かったなか、唯一、体力・運動能力向上についての肯定的回答は79%でした。昨年度も、61%と低かった項目です。実際に、東京都で行っている体力テストの結果でも、全学年男女別の各テスト項目のうち71%は東京都の平均より低くなっています。その背景として、体育科の授業づくり、休み時間の外遊び、家庭との連携などが十分ではなかったことが考えられます。今後、体力テストの結果を踏まえた体育科の授業力の向上、休み時間の外遊びの工夫、体力向上のための家庭での取組の推奨等に取り組んでいきます。また、子どもたちの悩みや問題への対応については、昨年度より肯定的回答は増えているものの否定的回答が14%ありました。児童や保護者の中には、悩みや問題を抱えているが、学校が十分に応えられていない方がいるということです。このことについては、真摯に受け止める必要があります。これからも児童理解に努め、保護者との連携を十分に図り、丁寧に対応するよう努めてまいります。